

X線自由電子レーザー計画

「開発」に関する補足資料

1. 開発

1-2 計画の推進にあたり、計画的かつ効率的な仕組みが構築されているか。

→ 今後、計画外事象が発生した時の仕組みが十分であるかは不明。

XFEL建設運営体制

運営に関する基本的考え方

SCSS試験器の成果とSPring-8サイトで培われた加速器、
ビームライン、および放射光利用に係わる
人的技術的な資源を最大限生かし、

XFELの実現と利用研究の開拓を国家基幹技術として
ALL-Japanの枠組みで実施する。

想定外の事象に対して

SPring-8の建設で培われたrisk assessment & risk managementの考え方

- ① 計画の進捗状況や問題点等、情報の共有化と分析
- ② 強いリーダーシップ
- ③ 組織運営の平坦化と柔軟性
- ④ 製作メーカーに共同開発意識を持っていただくこと

専任スタッフが全員参加する定例会議を毎週開催し情報を共有化し、問題点を整理し小さな芽のうちに対処することで想定外の事象が起こることを回避。

想定外の問題が発生した場合、原理・原則に立ち返って最善の方法を考えるチームを臨機応変に編成し、必要に応じてメーカー担当者とも協力して問題点の解決を図ってきたことで、今日のSPring-8が存在しており、この考え方を継続・踏襲して取り組んでいる。